

『認知症の症状② ～心の状態や性格、環境によって出る症状 行動・心理症状～』について

中核症状は、認知症の方なら誰でも現れる症状だとわかったけど、行動・心理症状はどういったものなの？



「行動・心理症状」は中核症状が元にある生活が不自由になって生じる混乱や、周囲の環境、元々の本人の性格などによって、引き起こされる症状のことを言うんだ。

人によって現れる症状や程度が違って、家族や介護者の接し方や薬によって改善したり、悪化することもある。

中核症状と違って、すべての人に出るわけではなく、何か原因があって起きるんだ。「何が原因なんだろう」と本人の気持ちになって考えてみて。理由を取り除くことで、改善する症状もあるよ。

脳の細胞が死ぬ

中核症状

記憶障害 理解判断力の障害
実行機能障害 見当識障害 その他

性格
素質

環境・
心理状態

行動・心理症状

不安 うつ状態 幻覚・妄想 徘徊
興奮・暴力 不潔行為 その他

なるほど。中核症状と行動・心理症状の違いは例えばこういうこと？

中核症状

「財布をどこかにしまい忘れる」



行動・心理症状

「もの取られ妄想」



性格や環境など

「自分がしまい忘れるわけがない。
誰かが盗ったんだ」
「物の位置が移動した」など



そうだね。「財布をどこかにしまい忘れる（記憶障害）」は認知症の方ならだれにでも現れる症状。それに「自分がしまい忘れるわけがない」といった気持ちや元々の性格、物の位置が移動した等の環境の変化によって、もの取られ妄想の症状が出ることもある。裏面も参考までに、見てみてね。

【うらへ続く】⇒

ちょっと一息。脳トシ



□の中のひらがなを縦・横につないで単語を作ってください。果物の名前が8個隠れています。

ぶ た ぬ た み ば な な ち ら み か
も に り ー か ん あ さ め ろ ん も
も れ り ん ご す な な し み ち ぶ
し ん し き ん か ん し ぶ ど う ろ

りんご、バナナ、みかん、いちご、ぶどう、梨、みも、りんご